

かずさ水道広域連合企業団に対する支援について（速報）

令和元年9月9日未明、関東地区に上陸した「台風15号」により、千葉県の一部の地域では、断水の状況がいまも続いています。

当企業団とかずさ水道広域連合企業団（構成団体：千葉県、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市）は、全国水道企業団協議会関東地区協議会の会員として災害協定を締結しています。

9月13日(金)にかずさ水道広域連合企業団から「給水袋 5000袋」の応援要請を受けたため、全国水道企業団協議会関東地区協議会 600袋、神奈川県内広域水道企業団 4400袋をかずさ水道広域連合企業団に支援を行いました。



- 1箱（200袋入）を、25箱運搬するため公用車2台で出発しました。
- 現地では、民家の屋根瓦が飛ばされ、ブルーシートで養生されている様子が多く見られました。（木更津市内）



- 各団体から送られてきた給水袋が本庁舎会議室に集められていました。在庫管理は管財課で行われています。

全国水道企業団協議会とは

- 昭和35年に一部事務組合である広域水道を健全に発展させていくためには共通の場で共通する諸問題を討議するため、埼玉県内水道組合、阪神上下水道市町村組合を中心に「全国上下水道組合協議会」が結成されました。
- 昭和41年に行われた地方公営企業法の改正に伴い、昭和42年に「全国水道企業団協議会」に改められました。
- 当企業団の施設能力は、全国の水道企業団においてトップクラスとなっていることから、同協議会では、副会長団体であり、また下部組織である関東地区協議会では、会長団体となっています。

以上